

回復期リハビリテーション病棟の看護師の役割と実践について
—知識と技術習得への効果的アプローチ—

研究対象：小山田記念温泉病院 回復期病棟看護師

研究の概要：

回復期病棟の看護師の役割は、疾病を考慮して全身観察を行い、二次合併症の早期発見や予防に努めることです。そして、リハビリ訓練で獲得した「出来る能力」を日常生活に取り入れ「している能力」となるようリハビリスタッフと連携をとることが役割としてあげられます。

しかし、看護師の役割は一つに絞れるものではなく、患者へのケア全般において看護師が関わっていくため、その中で何が最も重要なのかを考え、質の向上に向けていかなければならないのが現状です。

研究の意義：

前回の看護研究の意識調査で、回復期病棟の看護師の役割を明確にしたが、その後取り組みが出来ていない現状です。結果にある看護師の役割を効果的に実践するにはどうすれば良いかを検討します。

目的：

回復期病棟の看護師として、知識と技術が伴ったケアを統一して提供できる方法を考えることです。

方法：

本研究は2012年8月から2013年11月の期間で、回復期病棟看護師を対象として、無記名にてアンケート調査を行います。アンケート内容から、患者に日々行われているケアの中で学びを深めたいものや、知識が不足していると感じられるものを明らかにします。

2012年12月から2013年2月の期間で学習会を実施し、学習会2週間後に学びが実践に活かしているかのアンケートを行います。

個人情報保護に関する配慮：

院内に保管しているこの研究に関する情報は院外に出ることがないように厳重に保管しています。また、研究に利用するデータは個人が特定されない方法で利用させて頂いています。この研究へのご参加を希望されない場合には以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方のデータは本研究に利用しないように致します。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒512-1111 三重県四日市市山田町 5538-1

小山田記念温泉病院 回復期病棟 家崎潤

TEL：059-328-1260 / FAX：059-328-1261